

再評価結果（平成24年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課

担当課長名：三浦 真紀

事業名 一般国道10号 <small>かじき</small> 加治木バイパス	事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省 九州地方整備局						
起終点 起点：鹿児島県始良市加治木町反土 <small>かごしまけんあいらしかじきちょうたんど</small> 終点：鹿児島県始良市加治木町新生町 <small>かごしまけんあいらしかじきちょうしんせいまち</small>	延長 2.7km							
事業概要 加治木バイパスの4車線拡幅は、国道10号の交通混雑の緩和、交通安全性の確保を図るとともに、地域連携の支援、地域産業の振興などに寄与することを目的とした事業である。								
H19年度事業化	H一年度都市計画決定	H一年度用地着手						
H19年度工事着手								
全体事業費	約42億円	事業進捗率						
	63%	供用済延長						
		2.3km						
計画交通量 26,900～33,800台/日								
費用対効果分析結果	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;"> B/C <small>(事業全体)</small> 3.7 <small>(残事業)</small> 5.9 </td> <td style="text-align: center;"> 総費用 <small>(残事業)/(事業全体)</small> 9.0/54億円 (事業費：6.8/42億円) (維持管理費：2.2/12億円) </td> <td style="text-align: center;"> 総便益 <small>(残事業)/(事業全体)</small> 53/202億円 (走行時間短縮便益：55/209億円) (走行経費減少便益：-1.4/-5.7億円) (交通事故減少便益：-0.40/-1.3億円) </td> <td style="text-align: center;"> 基準年 平成23年 </td> </tr> </table>	B/C <small>(事業全体)</small> 3.7 <small>(残事業)</small> 5.9	総費用 <small>(残事業)/(事業全体)</small> 9.0/54億円 (事業費：6.8/42億円) (維持管理費：2.2/12億円)	総便益 <small>(残事業)/(事業全体)</small> 53/202億円 (走行時間短縮便益：55/209億円) (走行経費減少便益：-1.4/-5.7億円) (交通事故減少便益：-0.40/-1.3億円)	基準年 平成23年	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;"> 【事業全体】 交通量：B/C=3.2～4.1（交通量±10%） 事業費：B/C=3.7～3.8（事業費±10%） 事業期間：B/C=3.7～3.7（事業期間±20%） </td> <td style="text-align: center;"> 【残事業】 交通量：B/C=5.1～6.7（交通量±10%） 事業費：B/C=5.5～6.4（事業費±10%） 事業期間：B/C=5.7～5.9（事業期間±20%） </td> </tr> </table>	【事業全体】 交通量：B/C=3.2～4.1（交通量±10%） 事業費：B/C=3.7～3.8（事業費±10%） 事業期間：B/C=3.7～3.7（事業期間±20%）	【残事業】 交通量：B/C=5.1～6.7（交通量±10%） 事業費：B/C=5.5～6.4（事業費±10%） 事業期間：B/C=5.7～5.9（事業期間±20%）
B/C <small>(事業全体)</small> 3.7 <small>(残事業)</small> 5.9	総費用 <small>(残事業)/(事業全体)</small> 9.0/54億円 (事業費：6.8/42億円) (維持管理費：2.2/12億円)	総便益 <small>(残事業)/(事業全体)</small> 53/202億円 (走行時間短縮便益：55/209億円) (走行経費減少便益：-1.4/-5.7億円) (交通事故減少便益：-0.40/-1.3億円)	基準年 平成23年					
【事業全体】 交通量：B/C=3.2～4.1（交通量±10%） 事業費：B/C=3.7～3.8（事業費±10%） 事業期間：B/C=3.7～3.7（事業期間±20%）	【残事業】 交通量：B/C=5.1～6.7（交通量±10%） 事業費：B/C=5.5～6.4（事業費±10%） 事業期間：B/C=5.7～5.9（事業期間±20%）							
感度分析の結果								
事業の効果等								
①交通混雑の緩和 ・加治木バイパス4車線化による交通混雑の緩和 ・旅行速度の向上 ②交通安全性の向上 ・4車線化に伴う円滑な交通の確保、歩道設置により重大事故危険箇所が解消 ・死傷事故率の低下 ・死傷事故件数の減少 ③救急医療活動の支援 ・始良市加治木町から鹿児島市の第3次救急医療施設までの救急搬送を支援 ・救急医療活動のアクセス時間の短縮								
関係する地方公共団体等の意見 鹿児島県議会議長をはじめとし構成される鹿児島県議会国道10号整備促進議員連盟より積極的な整備促進の要望を受けている。(平成21年1月22日)								
県知事の意見 「対応方針(原案)」案の「継続」については、異存ありません。引き続き、早期完成に向け、所要の予算を確保されたい。								
事業評価監視委員会の意見 審議の結果、事業継続								
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 当該事業の沿線地区の始良市は、平成22年3月に加治木町、始良町、蒲生町が合併。 新規事業採択以降、加治木バイパスの交通量は現在までほぼ横ばい。4車線化区間では交通混雑が緩和されたものの、2車線区間では依然として交通混雑（混雑度：2.08）が発生している。								
事業の進捗状況、残事業の内容等 平成22年度末の事業進捗率は、事業費ベースで約63%であり、今後用地取得が必要となるのは、NEXCO用地1件のみである。								

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

地元や関係機関との協力体制のもと、事業効果を早期発現できるよう、引き続き工事を促進するとともに、早期供用に向けて事業を推進する。

施設の構造や工法の変更等

新技術・新工法の積極的活用により着実なコスト縮減。

対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上事業の効果、事業評価監視委員会における審議、知事等の意見を踏まえると、事業の必要性、重要性は高いと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。